

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795 (32) 5170
FAX 0795 (32) 5171
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

「本の森で冒険しよう」
童話作家 日

童話作家
日向理恵子

が、しかし、それでも、『図書館』という存在に昔から強く心惹かれるのは、そこが、”結晶”されながら育つていく空間だからでしょう。図書館というと、外の時間から切り離された、静止したイメージを抱きがちです。

しかし、と私は思います。

私が借りた一冊の本。そこには、どれだけの歴史がしみこんでいることでしょうか。作家が

物語を書き、それが製本されるまでなどではない。本が図書館へ届き、棚に並べられるまでもない。私の前に、この本を手にとつた人達がいるのです。顔も知らない、何人もの人達。その人達一人ひとりに、この本は、どう読まれたのか。喜怒哀楽、驚愕落胆、たくさんの人の想いが、指紋が、すべての本にしみついているのです。

読む人によつて、全く違つた様相を見せる本（なぜなら、読者という鏡の角度によつて、本は千変万化するからです）——そんな本でいっぱい図書館は、さながら静謐で巨大な森です。多くの読み手が訪れることにより、この森は刻一刻、生長し

だれのフィンガー・プリントが残されているのか。それは大きいのか小さいのか、どんな気持ちでつけられたものなのか。そんな本を膨大な数の中から選ぶのは、わくわくと胸躍ることではありませんか。——そして、自分を泣かせ、笑わせ、冒険させ、恋させたこの一冊を、次は一体、誰が手にするのか。それはひそやかでいて、圧倒的なスリルです。

森へ出かけ、冒険しよう。その言葉が現実たりうる図書館は、確かな魔法の空間です。



本と人、出会いがいっぱい

第5回図書館まつり

このほかにもクイズや
おはなし会もしたよ。
2面もみてね

3/7、8
たくさんの
ご来館あり
がとうござ
いました。

リサイクル広場


開館前から多くの方にお集まりいただきました。会場に並べた古本は、本と雑誌、合わせて3千冊以上。一人各10点を上限とし、みなさんお気に入りの本を、お

持ち帰りい
ただきま
した。

さかなつり

就学前の親子を対象にした工作教室。フェルトをさかなの形に切ったり、模様を貼り付けたりと様々なさがなが仕上がっていました。

あつと言う間に予定されていた2時間経過、もつと作りたいという声がたくさん聞かれました。



革ひも 工芸教室

革ひもを使ってストラップやキーホルダーづくり。革の表が同じ向きになるよう編みこんでいきます。3つ編みと4つ組みの2タイプあり、4つ組みの作業は、だいぶ難しかったよう。でも、リズムにのつてくると夢中で編み込みすぎてしまうという一幕もありました。

フィルムカバー講習会

図書館の本は透明な粘着シートでコーティングしてあります。このカバー方法について、お問い合わせをいただくことがあり、今回、講習会を開きました。

参加者は、ご自宅より大切な本を持参され、緊張しながらも丁寧に作業をされました。

カバールパズルづくり

毎回大好評の絵本カバーを使ったジグソーパズルづくり。子ども達が『崖の上のポニョ』や恐竜など色々な種類の中から好きなカバーを選び出し、自分だけのパズルを作りました。

表紙の人 日向理恵子さん

幼少の頃からおとぎ話を書きはじめ、
高校生の時に『魔法の庭へ』（創元社）
を出版。2008年には『雨ふる本屋』（童
心社）を出版する。多可町在住。

5周年記念講演

真珠まりこさんをお
迎えし、「もつたいない
ばあさんと考えよう世
界のこと」という演題で
ご講演いただきました。森が
きえる、食べものが足りない、
戦争がおこるといった世界の
状況。それに伴う子どもたち
の様子、働かされている子、
出生届のない子、兵士にされ
る子、ストリートチルドレン
の子などについて写真を挙げ
ながら、お話いただきました。
一同、考えさせられる講演と
なりました。

◎真珠まりこ

半生を全力で駆け抜けた巨匠
松本清張 編

しかし 地図を見るのは嬉しい
地図と時刻表とを傍に置いて
小説を考えているときが
私には いちばんたのしい時である
黒い手帖一図上旅行より

今年、生誕100年を迎える松本清張氏の推理小説は、社会構図や人間模様を犯行の動機として事件に迫っていく、それまでになかった新しいジャンルとして“社会派推理小説”と呼ばれています。

41才の時に、「週刊朝日」の懸賞小説に応募した『西郷札』が三等に入選してから、82才で未完となる『神々の乱心』『江戸綺談 甲州霊獄党』までの生涯作品は、歴史小説・古代史研究・昭和史・評伝・紀行文など幅広い分野に及んでいます。

時代が代わっても、映画やテレビドラマでの原作として脚光を浴びる作品を残した松本清張氏の生誕を記念して〈清張文学との新たな邂逅〉と題する全国巡回展が姫路文学館で7月31日～9月13日まで開催されます。今もなお、色あせる事ない「清張ミステリー」を今年は楽しんでみてはいかがでしょうか。



あるところに、一人で住んでいるおじさんがいました。ある日、晩ごはんを食べ終わるとくたびれて、汚れたお皿は次の日に洗うことにしました。ところが、次の日も、次の日も…。やがて、おじさんの家は汚れ物でいっぱい、きれいな入れ物は何もなくなっていました。でも、とてもいい解決策が見つかりました。クニーさんの絵が、実際ならさぞ不潔であろうことを抜きにして、はらはらドキドキしながら、ああ良かったと楽しめる絵本です。(み)

クラジラフスキー／文 クーニー／絵
岩波書店(エ)

『おやうをあらわなかったおじさん』

松本清張さんに関する クイズです

《こたえは最後のページに》

- I 代表作「点と線」が連載された雑誌「旅」を発行していたのは
① 日本国有鉄道 ② 日本道路公団
③ 日本交通公社 ④ 日本郵政公社
- II 第28回芥川賞を受賞作品「或る『小倉日記』伝」に出てくる『小倉日記』の著者は
① 志賀直哉 ② 菊池寛
③ 川端康成 ④ 森鷗外
- III 今年、清張氏と同じく生誕100年を迎えた作家は
① 坂口安吾 ② 壺井栄
③ 太宰治 ④ 遠藤周作
- IV 愛用のカメラを手に1985年に訪れた世界遺産の地は
① ストーンヘンジ ② モアイ像
③ アンコール・ワット ④ 万里の長城
- V 昭和36年に当時15万円で購入した驚きの物は
① 三角縁神獣鏡 ② 出雲の銅鐸
③ 世阿弥の能面 ④ 東大寺の礎石



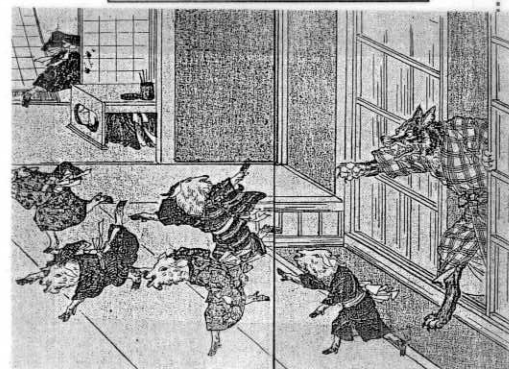
◆ 平成20年度利用状況(3/10現在)

◎登録者数: 6,937名
内) 中区: 3,716名
加美区: 1,291名
八千代区: 950名
町民登録率 24.5% (5,957/24,318)
人口は3/1現在

◎貸出総冊数: 743,343冊
H20年度貸出冊数: 156,254冊
H20年度利用者数: 30,364人
1人当たりの貸出冊数: 5.1冊

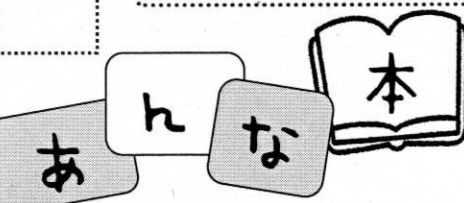
◎蔵書冊数
多可町図書館 86,764冊
加美公民館図書室 10,758冊
八千代公民館図書室 6,667冊

↓こたえは最後のページ



このおはなしなあに
大阪府立国際児童文学館
所蔵の資料からクイズを出して、来館者に答えてもらいました。問題は全部で8問。最高正解数は7問でした。

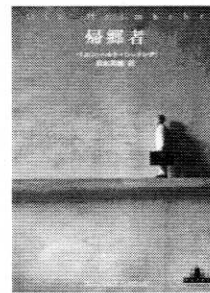
おはなし会
この日は11時30分からパネルシアターを中心とした、いつもの雰囲気と違ったおはなし会を開催。
大勢の子ども達が参加してくれました。



◆ 図書館まつり(3/7・8)
続きは4面へ

『帰郷者』

ベルンハルト・シュリンク／著
新潮社 (943シ)



父親を早くに亡くし、母とふたりきりで育ったペーターは、毎年夏の休暇を過ごす祖父の家で、古い小説の断片をみつける。それは兵士が故郷で待っている妻のもとへ帰る物語であったが、肝心の結末部分が抜け落ちていた。その兵士がどうなったのか気がかかり、失われたページを探すうちに、思いがけず明らかになった死んだはずの父の行方やナチスの過去。やがてベルリンの壁が崩壊し、ペーターの生活もまた変わり始める。まもなく公開予定の映画『愛を読む人』の原作者による傑作長編です。(さ)

『くじらぐもからチツクタツクまで』

石川文子／編 フロネーシス桜蔭社(908イ)



だれもが1度は読んだことのある話【昭和40年から現在までの国語の教科書のおはなし(小学校1・2年生の作品)】が、異なる出版社の協力のもと、1冊の本になりました。著者の解説・エピソードも寄せられており、親子2世代で楽しく読め、何回でも読めたい奥深い内容の本です。
この「くじらぐも」は「ぐりとぐら」の著者、中川李枝子さんの作品で、一番苦労された作品だということです。この本を読むと、教科書はつまらないという思いこみが、なくなるのではないのでしょうか。また、姉妹本で『おとなを休もう』(小学3・4年生)もあります。(あ)

『ハナと寺子屋のなかまたち』

森山 京／著 理論社(K913モ)



寺子屋を知っていますか? いまの学校とはちよつと違いますが、江戸時代にあった学校の事です。名主の家ではじめた三八塾に通う6人の子どもたちが、読み書きを習うかわら、自然の中で子どもたちの経験をつんでいく、しかし、突然ある別れが。現代で失われつつある生命力に満ちた子どもたちが、四季の移り変わりの中で成長していく姿が描かれています。(か)

図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区靴屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

「幸せの記憶」

兵庫県子どもの図書館研究会 大澤百世

私には、幸せの記憶“と云えるものがある。五歳の頃、私は就寝の時を告げられると、自分の寝室とは反対の祖父母の部屋へと駆けてゆく。広縁をぬけ硝子障子を開けると、そこでは祖父が書き物をしているか、本を読んでいる、祖父は私の姿を見とめると奥の間を開ける。座敷には既に床が延べられていて、私が床にもぐり込むと祖父は傍らに肘枕をして横になり、それから「昔むかし」のお話の世界が広がる。昔話もあつたが、悪戯好きの猿の話など、私が見がまなないかぎり、毎夜違

話だったように思う。声を荒げることもない代わり、笑顔を見せるでもない寡黙で厳めしい祖父から、澁みなく次々と面白いお話が紡ぎ出されるのをただただ夢中で聞いていた。ところが、不覚にも、気が付くと私は独り自分の寝床で寝ているではないか。憤りに足音を響かせ廊下を駆けて座敷の襖を五センチばかり開けて覗くと今度は祖母が「おいで」と私を抱き寄せてくれる。一年ばかり続いたろうか。父の転勤で祖父母の元を離れてそれは途絶え、数年経って、祖父は他界した。後で分かったのは『西遊記』の抜粋が多かったことだ。当時祖父は毎夜何を話してやろうかとひそかに準備をしていたので

はないかとこの頃思う。今となつては訊く術もないのだが。今、私は小学校などでお話をし、絵本を読んでいる。始めたきっかけは全くの偶然によるもので自分から求めていたわけではなく、何やら祖父が導いてくれたような気がしてならない。お話をするのは楽しい。それ以上に聞き入る子どもたちの輝く目と出会うのはこの上ない喜びだ。祖父の話はなにぶん即興なので、今聞くとお粗末なものだろう。だが、物語の世界が何にも増して楽しいものであることだけは確実に伝えてくれた。私もまた、それを伝えたいと願い、今日も本を開き、お話の準備をする。



遠藤歩美

本を読むことが大好きなので、図書館はよく利用していました。この4月からはここで働く側になり、毎日奮闘しています。

今悩んでいるのが、本の居場所がなかなか覚えられないこと。図書館の本には、記号や番号が振ってあり、それぞれ“住所”が決まっているのですが、それを覚えるのが大変なのです。ポケットには、どの番号の本が、どの棚に入っているのかを記した“地図”も入れているのですが、地図を読めない女である私は、しょっちゅう館内で迷子になっています・・・。

ともあれ、多可町図書館には、頼もしい本のエキスパート・司書さんが二人います。みっちりしごいてもらって、早く利用者の皆さまのお役に立てる職員になりたいと思っています。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

図書館に来るまでは、図書館の仕事は本を貸し出すことと思っていましたが、実際にはもっといろいろな業務があり、奥が深いと感じています。

また、図書館はボランティアグループ「サポー・ト・ねっと」のみなさんや利用者の方々など多くの人びとに支えられていることも知りました。

多可町図書館のモットーである「くらしに役立つ図書館」をさらに推し進めていくために、微力ではありますが頑張っ

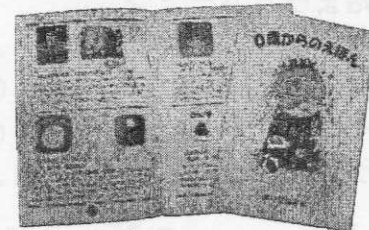
藤中薫



新しいスタッフ紹介

ブックスタートに 絵本リストの冊子をプレゼント

最近、絵本に興味を持たれる大人の方が増えました。図書館でも「1歳の子なんですけど、どんな絵本がいいでしょう？」というような、お問い合わせを受けることが多くなりました。そこで、0歳から2歳くらいまでの赤ちゃんに、出会ってほしい絵本のリストをつくりました。この冊子は、出生届を出された時に、お祝いの絵本や絵本バッグと共に配布しています。また、各公民館や児童館などにも置いてありますので、興味のある方は、ぜひ、ご覧ください。



表紙の人

大澤百世さん

兵庫県子どもの図書館研究会会員。ストーリーテリング神戸会員。読み聞かせ人講座(神戸市教育委員会生涯学習課)講師。多可町図書館では6月より読み聞かせ入門講座の講師としてお世話になっています。



時間等、詳しい内容は図書館までお問い合わせください。

▼手づくり絵本工作講座
講師に村上祐喜子さんをお迎えして、手づくり絵本作りを行います。夏休みの工作にもぴったりです。
日程：7月23・24日
定員：20名程度

▼スタンプラリー
今年も、7月18日～8月30日まで小学生を対象にスタンプラリーを実施します。

▼おはなし会
夏休み期間中、通常の第2、4土曜日のおはなし会に加え、毎週金曜日おはなし会を実施します。時間はいつでも11時から約30分間です。

夏はイベントがいっぱい

- 《こたえ》
- I...②
- II...③
- III...②
- IV...③
- V...④
- VI...①

ふくちゃん、のウインク
ふくちゃんの言の葉、便利では今回、ムーンミンを取り上げました。愛くるしいイメージのムーミンですが、初期の作品では「黒いムーミン」として登場しています。また、問VIで出題した富原真弓さんは西脇市の出身で、ヤンソン作品の翻訳や研究をされておられる、近著に『ムーミン谷のひみつ』(筑摩書房)があります。ちなみに、問Iで取り上げた、ムーミンの身長ですがフィンランドの電話帳のサイズだそう。日本本のサイズと同じ大きさなので、ささなでしようか。どんなことでも考えかけると際限なく、奥が深いですね。こんな風に色々なことに興味を持ちながら読んでみるのも楽しいかもしれません。(け)

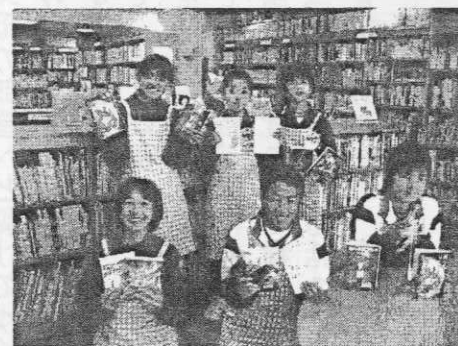


トピックス

トライやるウィーク

6月3〜7日にかけて6名の中学生が図書館の仕事を体験しました。今回の図書館だよりタイトルロゴも6名に1字ずつ書いてもらいました。

トライやるを終えての感想です。



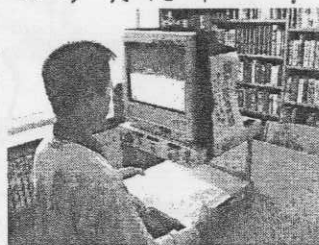
◇ 返却は最初わからなかったけれど、図書館のみなさんが教えてくださったので、本のもわかつたし、それとか、カウンター業務では最初緊張したけど、だんだん慣れてみんなに馴染んでいけるようになったかなと思いました。(ま)

◇ 図書館の仕事は見た目、すごく楽しかったのに、実際にやってみたら結構しんどかったです。トライやるを終えてわかったことは仕事は楽じゃないということです。(け)

◇ 図書館での仕事を体験することで仕事の大変さがよくわかりました。図書館の方から学んだことをこれからの生活に活かしていきたいです。(あ)

拡大読書器

印刷物の文字や写真を拡大したり、読みやすい明るさに調整したりしてモニターに映し出す拡大読書器を参考図書コーナーに設置しています。ご利用ください。



◇ 見学すると図書館の中にはめっちゃくちゃたくさん本がありました。仕事ではカウンター、書架整理などの仕事がありました。どれも疲れしました。でも、楽しかったです。図書館で働いている人はこれを毎日するのはすごいなあと思いました。また、機会があればみたいです。(ふ)

◇ 五日間という短い間だったけど、いろんな体験をし、仕事の大変さがわかりました。トライやるを終えても図書館で学んだことを生活で活かしていきたいです。(き)

◇ 最初に思っていたよりも大変な事が多かった。返却は本をしまう場所がわからなくてあちこち行つて時間がかかってしまったり、カウンターはバーコードを通さなかったりとそんなことが多かったけど、貴重な体験が出来たと思います。(し)

ムーミンに関するクイズです

《こたえは最後のページに》



- I ムーミン谷に住んでいるムーミンの身長は
 - ①携帯電話ほど ②電話帳ほど
 - ③公衆電話ほど ④電話ボックスほど
- II ムーミンパパはシルクハット。ではムーミンママは
 - ①真珠のネックレス ②コットンの日傘
 - ③ハンドバッグ ④ピンクのスカーフ
- III 旅人スナフキンの奏でる楽器は
 - ①オカリナ ②ハーモニカ
 - ③ギター ④フルート
- IV 1934年の頃、挿絵に描かれたムーミンの色は
 - ①赤いムーミン ②黄色いムーミン
 - ③黒いムーミン ④青いムーミン
- V トーベ・ヤンソンさんが挿絵を描いた物語は
 - ①雪の女王 ②小公女
 - ③赤毛のアン ④不思議の国のアリス
- VI ムーミンを翻訳している北播磨出身の訳者は
 - ①富原真弓 ②山室 静
 - ③松岡佑子 ④岸田今日子

くちんの言の葉の便り

世界中から愛される北欧の“ゆるキャラ” トーベ・ヤンソン編



生きるということは、思いつくかぎりの可能性や驚きがいっぱいつまったくびっくり箱>の中にとびこむようなものなのです。

『ムーミン・コミックス14』
(筑摩書房) あとがき より

愛らしい森の妖精の物語『ムーミン童話』は、自然の神秘“冬のオーロラ”と“夏の白夜”に出会える国・フィンランドで誕生しました。原作者のトーベ・ヤンソンさんは、彫刻家の父とデッサン教師でもあった母との長女として1914年に生まれ、15才の時には、早くも雑誌のイラストレーターとして活動をしています。19才の時に、絵本『サラとペッシと水の精のタコたち』を出版してから12年後の1945年に、題名『小さなトロールと大きな洪水』で、はじめてムーミンが物語の主人公として登場してきます。ムーミンたちを一躍有名にしたのは、1954年にイギリスの月刊紙「イブニング・ニュース」で連載が始まったムーミンコミックですが、ムーミン物語は、8話の童話と4話の絵本、そして1冊の短編小説集があります。アニメ世代の大人も原作者の描く挿絵と共に物語を楽しんでみてはいかがでしょうか。



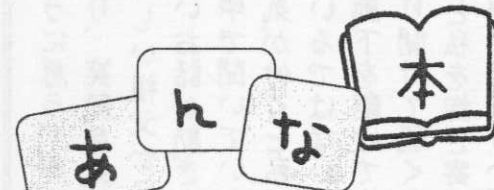
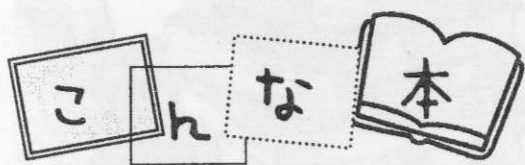
『月へミルクをとりにつたねこ』
アルフレッド・スメードベルイ／作
たるいしまこ／絵 福音館書店(エタ)

かわいい4匹のこねこを育てるかあさんねこ。ある日、こねこに飲ませる大事なミルクが足りなくなつてしまいました。困り果てたかあさんねこに、いぬが知恵をさずけます。「ミルクがほしいなら、月へいけばいいんだ」かあさんねこは、喜び勇んで月へミルクをとりにつたねこ。でかれます。さて、かあさんねこは、ミルクを手に入れることができるのでしょうか…。かあさんねこの愛が心に響く物語です(え)



『がんばれヘンリーくん』
クリアリー／作 学習研究社(K933ク)

ヘンリーくんは3年生、ある日ドラッグストアであばら骨がすけて見える犬に会います。どうしてその犬を飼いたくなったヘンリーくんは、アバラーと名付け、なんとかバスに乗せて連れて帰ろうとします。でも、運転手さんはそう簡単に乗せてはくれません。挙句の果てにふたりは、パトカーでうちに帰ります。さあ、ヘンリーくんはアバラーの愉快な生活の始まりです。この物語は全部で9巻、どの巻も文句なしに楽しめます。(と)

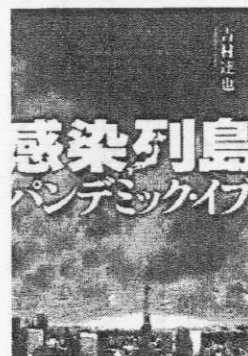


『感染列島 パンデミック・イブ』

吉村達也／著 小学館(Fヨシ)

約10年前にその脅威が確認されたH5N1鳥インフルエンザ。かつてない強毒性のウイルスが突然変異をなし、ついに、人から人へ感染し驚異のスピードで「死」をまねいた。そして、恐怖のパンデミック(地球規模の爆発的感染)に襲われる。果たして、人類は助かるのか、衝撃の結末が…。

しかし、これはフィクションではなくりました。フェーズ6(2009年6月12日、WHO発表)。あなたなら、どうしますか。(お)



『間違いだらけのクルマ選び 最終版』

徳大寺有恒／著 草思社(537ト)



この本は、30年間も同じテーマで毎年1冊、途中からは冬夏版の2冊を、一人の著者が書き続けたものです。以前から自動車専門誌のライターとして活躍していた著者が、自動車メーカーを批判するような「間違いだらけの…」という刺激的な本を出すわけにはいかず、最初は、本名を伏せて、「徳大寺有恒」という覆面ライターで発刊しました。ところが、その本がベストセラーとなり、翌年には覆面をぬぐことができました。本書は、メーカーだけの責任を追及しているのではなく、良くないクルマを選ぶユーザーの常識も批評しています。ぜひ自動車選びの参考に。(ふ)

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糀屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

今年度は、三年生から六年生までの音楽専科をしています。子どもが新しい曲に出会う時、その曲に秘められた話をしたり、絵本の読み聞かせをするようにしています。これを「スプーン一杯のミュージック」とよんでいます。六年生教材『こげよマイケル』、五年生教材『静かにねむれ』は、黒人霊歌の一つです。この曲をバックミュージックに黒人問題を扱った『ローザ』『彼の手は語りつく』『ヘンリー・ブラウンの誕生日』のブックトークをしました。高学年でも絵本を見つめる瞳

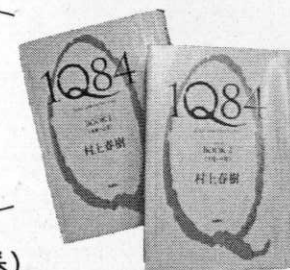
「絵本と音楽のコラボ」 中町南小学校教諭 藤賀幸子

は真剣そのものです。絵本のチカラで子どもたち一人ひとりの曲想にふくらみことができました。五年生鑑賞曲はアジアの音楽です。曲を聴きながら『ウェン王子とトラ』の読み聞かせをしました。外見では怖そうなたらが実は優しい母親の心を持ちながらウェン王子を育てるとい内容で、墨絵で力強く描かれた迫力のある絵がページ一杯にひろがり、目と耳から韓国の文化を体得してくれたように感じました。四年生では、郷土の民謡を鑑賞します。上方落語の『じごくのそうべえ』の読み聞かせをすると、人情味あふれた話と大阪の民謡が、よくマッチして

いました。三年生は、明るく、テンポのいい曲が多いので『おんぶはこりごり』の絵本を読むと、絵の中からピググを見つけて出し、笑顔で曲の演奏を始めました。音楽を聴きながら絵本を読む子どもの姿や、リコーダーの個人レッスンの待ち時間に静かにページをめくる子どもの姿をみる時は、私の至福の時間でもあります。さて、この曲ではどの絵本を紹介しようかなと子どもたちの輝く瞳を思いうかべながら、「スプーン一杯のミュージック」のために山盛りの絵本を音楽室へ運び日々が続きます。



10月27日～11月9日は読書週間です。
今年の標語は“思わず夢中になりました”
そこで、2009年上半期よく読まれていると
図書館員が感じた本と作家をお披露目します。



『運命の人』(全4巻) 山崎豊子/著 文藝春秋

昭和46年、沖縄が返還されようとする最中、毎朝新聞政治部記者、弓成亮太が、ある疑惑を嗅ぎ付ける。常に独自の手法で情報を入手してきた弓成。この事実がうやむやにならぬようある作戦に打ってでます。しかし、事態は思わぬ方向に…。

『大地の子』『白い巨塔』など、数多くの作品を発表している著者。どの作品も綿密に取材されており、読み手に息つく暇さえ与えません。



『1Q84』(全2巻) 村上春樹/著 新潮社

青豆と天吾二人の主人公を中心に物語が展開。ある時、空を見上げると月が2つ浮かんでいた。そこは、ある瞬間を境に踏み込んでしまった世界。一見なんの接点もないような二人だったが次第にある一点に向かって引き寄せられていきます。“空気さなぎ”“リトルピープル”とは何なのか？読者は分からぬまま物語の中に引き込まれてしまいます。

5月に発売され、2巻合わせて200万部を突破した話題作。秋の夜長、村上春樹の世界を堪能してみませんか。

『ころころろ』 畠中恵/著 新潮社

一太郎は、大店の一人息子で病気がち。だが、なんと妖怪が見える。それもそのはず、祖母は大妖怪だった。だから家の中には妖(あ)やか(し)のたぐいがウヨウヨ。側で仕える兄やもその一人。でも、みんな一太郎を守っている。次々と周りで奇妙なことが巻き起こるファンタジー小説。



この作品でシリーズ8作目。各巻で内容が完結していますが、登場人物がつながっているのも、やはり、第1作目『しゃばけ』から読みたくなります。



ここに紹介した以外にもこの人の本面白いのに!!という作品は多数あると思います。また、お声かけください。“ふくちゃん”の言の葉便りなどでとりあげられたらと思います。

『告白』 湊かなえ/著 双葉社

「愛美は事故で死んだのではなく、このクラスの生徒に殺されたからです。」

シングルマザーとして4歳の娘・愛美を育てながら、中学教師として働く森口。しかし、愛美が学校で死体となって見つかり、森口は教職から去る。最後に生徒たちに衝撃的な言葉を残し、犯人への「復讐」をやり遂げて。

「復讐」におびえる犯人たち、犯人を取り巻く人々の心の訴え、そして犯人たちに訪れる森口からの「本当の復讐」。読み終わった後、心が凍る思いがした1冊です。



『陽炎ノ辻 居眠り磐音 江戸双紙』 佐伯泰英/著 双葉社

江戸での勤めを終えた磐音が国許に戻ったその日、思いもよらぬ事件に巻き込まれる。その結果、浪人となり再び江戸へ。人情味あふれる人々に囲まれ、悪事には颯爽と立ち向かっていく。

2008年ドラマ化されてから爆発的な佐伯ブームが巻き起こりました。現在シリーズ30作まで続いている痛快時代小説です。



ふくちゃんのウイーク

今夏、利用者からいただいた朝顔の種を蒔いてみました。小学生時代の観察日記以来です。各プランターに4粒、芽がでてくると、葉が巻きつけるようにと紐を図書館の屋上から張ってみました。『みしのたぐい』(※1)の気分です。どこまでも、ぐんぐん伸びていったらどうしようなんて思いながら、見守っていました。そんな心配をよそに、いぐいすのところで生長はとまりました(残念)。そこで、ふと思ったこと。土の深さやプランターに蒔く種の数を変えたらもっと伸びたのかななんて。あの頃、こんな疑問をもつて観察していたら、楽しい自由研究ができたのでは?とこの年齢になって感じています。日頃から、「なぜ?どうして?」と物事を観察していると、いろいろな面が見え、楽しい発見があるのかもしれない。思わず夢中になった夏でした。(よ)

- こたえ
- I...②
- II...③
- III...②
- IV...①
- V...②

※1 松岡享子/著(こぐま社)の本のタイトルです。内容はタイトルを反対から読んでみるとわかるかも。



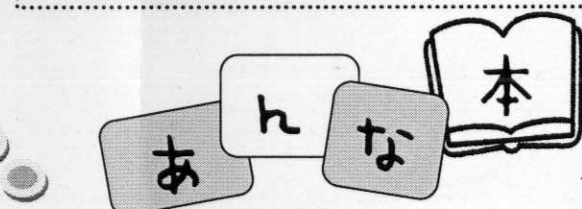
◆スタンプリリー(7/18~8/30)

今年のスタンプリリーは「おはなしで世界を旅しよう」と題し、4つのエリアに物語をわけて、クイズを出題しました。総数110名の子どもたちが参加してくれました。

クイズに答えるという楽しみもあるようですが、何か1冊でも自分にあつたお話がみつかったらいいと思います。



◆平日おはなし会
夏休み期間中、毎週金曜日、小学生を対象におはなし会を開催しました。最終日の8月21日には「ちよつとこわいおはなし会」と銘打って実施したところ、23名もの小学生が参加してくれました。子どもって怖いおはなし大好きですね。おはなし会終了後、「ぜんぜんこわあなかつた」なんていいながら楽しそうに帰って行きました。また、実施できればと思います。



『死ぬのによい日だ』

日本エッセイスト・クラブ/編

文藝春秋 (9142)

本の表題になっている「死ぬのによい日だ」は、作者の父が総合病院で、がんで余命半年の宣告を受けてから亡くなるまでの話です。宣告を受けたとき父は、「まだ半年あるじゃないか。」と力強い声で言ったのです。父の治療の方針は、「生活の質を上げて、仕事ができなくなるような治療はやらない」でした。そして、最後にと

てもよい日を過ごし、静かに息をひきとります。本のタイトルにドキッとして手に取った、55編のエッセイからなる、09年版ベスト・エッセイ集です。(心)

『チリモン博物誌』

きしわだ自然友の会/著 幻戯書房(664キ)

以前よりちりめんじゃこを食べながら思っていました。あつ、タコ、イカ、エビ……までは分かるけど、この太ったちりめんは何だろう？この変な形のは？なんと画期的な本が出ました。ちりめんじゃこに混ざっているふしぎなあれこれ、チリモンモンスターの解説本です。そうか、あの太つちよはタイだったんだ！これはまだ見たことない？などと、写真を見ながら、楽しめる本です。ちりめんと一緒にどうぞ。(ただし、図書館の本の場合は、取り扱いにご配慮を！)



「けど、変なのが混ざったちりめんじゃこなんて見たことない」とおっしゃる方もご心配なく、入手方法も載っています。(と)

◆読み聞かせ講座終了

絵本は、上手に読まなくても一生懸命読むと、聞き手に伝わるので、伝えることが大切です。子ども達が知っている内容のもののほど、子ども達が、のってくるのでは？と、大澤百世先生。また、実際に講座生が「読み聞かせ」を行い、楽しい会となりました。(全4回、受講者30名)



◆変身カードで絵本づくり(7/23・24)
手づくり絵本作家の村上祐喜子さんをお招きし今年で3年目。今回は、3歳から小学4年生まで21名の参加で、和氣あいあいとした雰囲気の中、2日間かけて1つの作品を完成させました。

どの作品も、子ども達の発想力豊かな仕上がりとなりました。また、会場で新しい友達もできたようでした。

それいけ！メルヘンの魔術師
やなせたかし 編

やなせたかしさんに関する

クイズです

《こたえは最後のページに》

I 1973年に出版された最初のアンパンマンの文字は

- ① 餡パンまん ② あんぱんまん
③ ANPANMAN ④ アンぱんマン

II どんぶりトリオは、てんどんまん・カツドンマンともう一人は

- ① うなどんまん ② いくらどんちゃん
③ かまめしどん ④ たまごどんまん

III 童謡ミュージカルから絵本となった作品は

- ① ニャンダーかめん ② やさしいライオン
③ チリンのすず ④ 千夜一夜物語

IV やなせさんが編集長を30年つとめた『詩とメルヘン』で育ったイラストレーターは

- ① 永田萌 ② 武田美穂
③ いもとようこ ④ 島田ゆか

V 包装紙にやなせさんが書いたロゴが今でも使われている百貨店とは

- ① 高島屋 ② 三越 ③ 西武 ④ 阪神

こと 葉
ふくちゃんの言の 便り

もし
この世に愛がなければ
生きられない
ほんのちいさな花でさえも
愛をたよりに生きているのに

詩集『人間なんておかしいね』より

みんなは、アンパンマンに登場するキャラクターをどれだけ知っているかな？20 ぐらい言える人はいるよね。じゃ、100 言える人はいるかな。100 はちょっと無理か。でも今年、登場キャラクターが世界一としてギネスに認定され、その数なんと 1768 体もあるんだって。ビックリするよね。でも、もっとビックリがあるんだ。それはね、原作者のやなせたかしさんは、1919 年(大正8年)生まれだから、今年で 90 才のおじいさんなんだ。テレビ放送が始まった時には、すでに 70 才だったんだよ。どうだ、みんな驚いたろう。やなせさんは、漫画家や絵本作家だけでなく、誰もが知っている「手のひらを太陽に」の作詞者でもあるんだ。最近では、季刊誌『詩とファンタジー』の編集長として「現代人にファンタジーを提供したい」とがんばっているんだ。アンパンマン絵本だけでなく“やなせメルヘン”もきくと感動をあたえてくれると思うよ。

じゃ、また。バイバイキーン

『ちよつと源さんお借りします』

尾崎美紀/著 文研出版(K913オ)

達也のおじちゃん・源さんは、うでのいい大工でした。達也の家で同居するようになり、はじめはちよつとさみしそうでしたが、ご近所の家の修理を頼まれるようになってからは、楽しそうな顔を見せるようになりました。

だれかに必要とされる喜び、そして、だれかに支えられる喜び。そんなことを源さんから感じた達也の父は、まちの人々のきずなを深めようと、あることを思いつきます。それは……？
源さんと子ども達、そして、まちの人々との新しい絆をえがいたお話です。(え)



『100万回生きたねこ』

佐野洋子/作・絵 講談社(Eさ)

自分以外の何者も愛することなく、自由気ままに人(猫)生を「100万回生きた」ねこが、白いねここと出会う。初めて自分以外の愛するものを見つめます。それを失ってしまった時、初めて他人のために涙を流すのでした。その後自分にも死が訪れますが、もう2度と生き返ることはありませんでした。

「生きる」という意味を考えさせられ胸が熱くなります。子どもが感じるもの、大人だからこそ感じるものがあり、この本は読み手によって様々なとらえ方の出来る絵本です。(お)



発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区靴屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

図書館だより

インターネットから“取り寄せ”ができます!!

図書館のHPアドレスはこちら
携帯からはこちら

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>
<http://www.library.taka.hyogo.jp/i/home.html>



今までは、貸出中の本への予約しかできませんでしたが、
12月より、館(室)内にある本が別の館(室)で受け取ることができるようになりました。

①本を検索します。

②貸出中でなければ詳細画面にある**取り寄せ**ボタンをクリックします。貸出中の時は**予約**ボタンを押してください。

③としよかんカードの番号、パスワード、受け取り希望館、連絡方法を入力し**送信**ボタンをクリックしてください。

※注意事項

- ・パスワードを登録されていない方は利用できません。
→図書館や公民館で申し込みいただくとその場で登録いたします。
- ・本の所蔵館と受け取り希望館が同じ場合は取り寄せできません。

④下の図のようになれば手続き完了です。
もし、取消したい場合は「利用者情報」のページから作業してください。本が用意できるとネットでの取消はできませんので図書館(室)までご連絡ください。

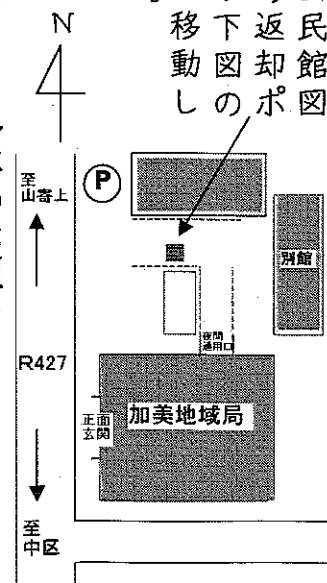
クイズの
こたえ
I...①
II...③
III...④
IV...②
V...④
VI...②

◆お知らせ◆

加美公民館図書室の返却ポストが下図の場所に移動しました。

◆リサイクル本をお願い◆

今年も3月の図書館まつりで本のリサイクル市を開催します。もう読まない本だけでも活用できる。そんな本がご自宅にありましたら、リサイクルしませんか。郷土資料や絶版等で手に入らない本は図書館で所蔵し、その他はリサイクル市へと考えていますのでよろしくお願ひします。まずは図書館までお問い合わせください。(受付は2月)



「今年は何年？」

多可町図書館長 徳平みゆき

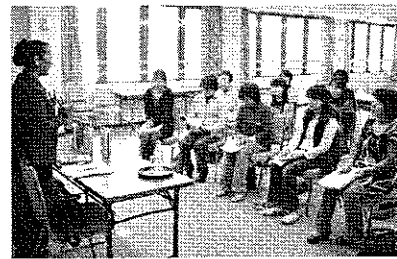
明けましておめでとうございます。早いもので、二十一世紀も十年目を迎えます。

さて、今年は何年ですが、「国民読書年」でもあります。これは、「読解力や言語力の衰退が我が国の精神文明の変質と社会の劣化を誘引する大きな要因の一つとなりつつあること」は否定できない」という危機意識から国を挙げてあらゆる努力を重ねるといふ思いで、二〇〇八年六月に衆参両院、全会一致で制定されました。

「この一冊の本が、私の人生を変えてくれた」という話を聞くことがあります。読書というと、つい小説や物語を読むことを思い浮かべますが、図書館には眺める本、調べる本、遊ぶ本などがあります。また、ひと昔前は、学生のための図書館というイメージがありましたが、本来図書館は住民皆さんのものです。図書館では、いろいろな本が皆さんにご利用いただけるのを待っています。ところが、図書館に越えていただいている住民の方はまだ少数派です。もっと多くの方に、本を見る楽しさを味わっていただけないかと思っています。

「この一年が、皆様にとって、図書館にとつて、どうぞ良い年でありますように。」

◆ストーリーテリング講座実施中!!



今回で3回目を迎えたストーリーテリング講座。読み聞かせ入門講座に引き続き講師は大澤百世さん。受講者は17名。毎回講座の後半に受講生2、3名におはなしをしていただいています。「子ども達の



リリーや人形、コマなど素敵な作品が出来上がっていました。このような機会を通して、自然に興味を持ちたり、疑問に感じた時は図書館で調べてみたいと何かのきっかけづくりになればよいと願っています。

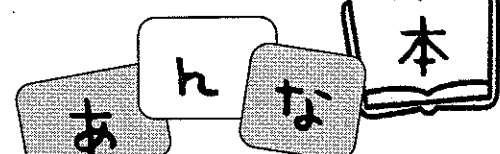
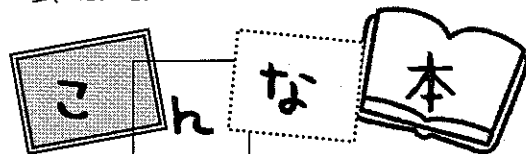
◆どんぐりと遊ぼう

10月24日「どんぐりと遊ぼう」を2年ぶりに開催しました。一口にどんぐり

といっても、クヌギやマテバシイなどたくさん種類があり、どんぐりの形も帽子の形も様々です。それらを使ってアクセサリーや人形、コマなど素敵な作品が出来上がっていました。

◆どんぐりと遊ぼう

杉原谷幼稚園、松井幼稚園、みなみ保育所4歳児、八千代北小1・2年生など、この秋たくさんの子どもたちに来館してもらいました。おはなし会を楽しんだ後は、それぞれ思い思いの本を借りてもらいました。また、図書館ボランティアのおはなしサークル「あいあい」のみなさんは依頼のあった学校・園で、おはなし会をされています。



『リテイク・シックスティーン』

豊島ミホ／著 幻冬舎 (Fトシ)

市内の進学高校に入学した沙織。友達になった貴子に、冴えない27歳の人生を高校時代からやり直すため、未来からやってきたと聞かされます。そんなバカなと思いつつ、貴子の一生懸命な高校生活を一緒に送ることに決めます。学園祭をきっかけにクラスの男子とつきあい始めた貴子。そこから男女4人のグループができます。ところが、進路調査が元で、沙織と貴子の間にどうしようもない溝ができてしまっています。微妙な人間関係や悩みごとがありありと描かれ、高校生活真っただ中の人も、懐かしそうに感じる人も、存分に楽しめる物語です。(と)

『すごい弁当力』

佐藤剛史／著 五月書房 (596.4サ)

香川県綾南町立(現・綾川町)滝宮小学校で始まった「弁当の日」。単に弁当を持ってきて食べるというだけでなく、買い出しから何もかも子どもにさせ、親は一切口出し無用。当初、賛否両論あったようだが多くの人の協力を得て実現する。九州大学でも小学生に負けじと一品持ち寄り形式の「弁当の日」が始まった。最初はそんなに大騒ぎすることではないと考えていた学生も、いざ作り始めるとそうではなかった。人を思う気持ちが芽生え、次々アイデアが生まれていった。相手の喜びが自己肯定感を獲得する絶好の場となっていたのだ。



自ら考え、創造する力を育んだ「弁当の日」。自分が作ってみて初めてわかるありがたさ。感謝する心を持ち続けたいと感じさせられる一冊です。(よ)

『あばれはっちゃく』

山中恒／著 理論社 (K913ヤ)

「あばれはっちゃく」こと、桜間長太郎。勉強はダメでも、ケンカは大得意。おまけに曲がったことが大嫌いで、ズルい大人には、がぜん闘志が湧いてくる。一本気で正義感にあふれ、弱い者には優しく悪い大人にはめっぽう強い長太郎が、あの手この手で大活躍します。懐かしさと新鮮さが入り交じり、世代を超えて面白く、読むと心がスッキリします。(お)



時代の一步先を見つめ続けた男 坂本龍馬 編



坂本龍馬に関するクイズです。
《こたえは最後のページに》

- I 龍馬18歳の時、江戸滞在中に起こった出来事は
①ペリー来航 ②安政の大獄
③桜田門外の変 ④生麦事件
- II 1867年、龍馬が暗殺された京都の宿は
①池田屋 ②寺田屋 ③近江屋 ④越後屋
- III 日本で最初の貿易会社『亀山社中』があった都市は
①高知市 ②神戸市 ③札幌市 ④長崎市
- IV 高千穂山に持って行った食べ物は
①明太子 ②カステラ
③マンゴー ④さつま芋 ⑤からし蓮根
- V 1968年放送のNHK大河ドラマ「竜馬がゆく」の原作者は
①津本陽 ②山岡荘八
③武田鉄矢 ④司馬遼太郎
- VI 2010年放送のNHK大河ドラマで龍馬役を演じるのは
①北大路欣也 ②福山雅治
③佐藤浩市 ④江口洋介

こと 葉 便り ちやんの言の

「…(かない)」というものは世の中にはない人よりも一尺高いところから物事を見れば道は常に幾通りもある (『竜馬がゆく』より)

—「日本を今一度洗濯いたし申し候」—
坂本龍馬は、新しい日本の夜明けを信じて天馬の如く幕末を駆け抜けました。あまりにもドラマチックな生涯ゆえ、数々の小説・映画・ドラマ・アニメに登場しています。龍馬は、五人兄弟の末っ子として1835年に土佐藩郷土の家に生まれます。28歳の時に、土佐藩を脱藩してから33歳の冬に暗殺されるまでの5年間で、日本の歴史を大きく動かしていく事に関わりました。勝海舟の門下生となった後には、神戸生田海軍塾長を務め、32歳の時には、西郷隆盛と桂小五郎との会談の立会人として、念願だった「薩長同盟」を見届けています。
龍馬は、おりようさんとの新婚旅行先で登った高千穂山頂にある「天の逆鉾」を案内人の制止も聞かずに引き抜いたと言われています。意外にもこの行為が、大政奉還を速め明治維新を成し遂げたのかもしれないですね。坂本龍馬だけではなく、歴史には、面白いエピソードが沢山あります。今年も、「歴史のif」のページをめくりに、ぜひ多可町図書館へ来てください。

『その手に1本の苗木を』

クレア・A・ニヴォラ／作 評論社 (Eニ)

この本は、アフリカの女性として初めて、04にノベル平和賞を受賞したワンガリ・マタイさんの伝記絵本です。マタイさんは、「モツタイナイ」という日本語を、環境と資源を守る合言葉として世界に広めているケニアの環境保護運動家です。マタイさんのふるさとには、自然が豊かで、人々はその恵みを受けて暮らしていました。でも、20歳のとき、生物学を学ぶためにアメリカに留学し、5年後に帰ってくると、木々が伐採されるなど、その風景は大きく変わっていました。マタイさんは、木を植える運動を始め、それが国中に広まっています。(ふ)

